

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所まふいん（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年2月8日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年2月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	17施設	(回答数) 11施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関や通園・通学先の先生方と密に連携を図り、子ども達の支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な訪問と、保護者への共有を行っている。 通園・通学先でもできる支援を検討し、訪問時に直接支援に入りやすく、担任等への伝達やアドバイスもスムーズに行える 集団での課題を通園先と共通理解しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフそれぞれが専門性を磨き、的確なアセスメントと課題の抽出、訪問先へのアドバイスができるようになる。
2	保育所等訪問支援の実施と、訪問先との連絡会を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保育所等訪問支援を実施していることもあり、連携の取れた支援が可能である。 定期的な訪問も連絡会を実施し、課題の達成度や支援の効果等の確認ができる。 個別支援計画作成時には訪問先での意見をもらいやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に訪問先の意見や意向を反映するための手順を整へ、よりスムーズになるようにする。 保護者へも訪問先と連携を図っていることの周知する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会等の定期的開催。	<ul style="list-style-type: none"> 年数回の保護者研修への参加、療育参観週間を行っているが保護者参加率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の求める研修会を計画し、早目の周知を行い参加を呼び掛ける。
2	非常時の対応や安全確保についての周知。	<ul style="list-style-type: none"> 非常対応マニュアルや各指針を整備し玄関前に掲示しているが、保護者への周知が完全ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルや指針については、契約時以外に面談時にも内容を伝え、児童の安全確保について周知する。 ブログやSNSで避難訓練実施について報告する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所まふいん（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年2月26日

利用児童数

51人

回収数

25人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	21			4		訪問時に必要な教材教具を整えています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	25					面談時にパーテーションで仕切るなどしてプライバシーに配慮しております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	25				適切に説明していただき、納得しました。	契約時や面談時に説明しています。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	24		1			極力希望に添えるように計画をしますが、訪問先の都合で希望の日時に訪問できないこともあります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	25					初回訪問時や希望があれば児発管と二人体制で訪問しています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25					今後も専門性を高めるために職員一同学びを深めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					アセスメントシートを用いて、面談や個別支援会議等で課題を分析した上で個別支援計画を作成しております。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	24			1		個別支援計画には訪問先と支援について十分に話し合い、盛り込んでおります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25		1			児童発達支援ガイドラインに則した計画作成を行っております。保護者の方との面談や相談支援事業所、こども園や保育園とも連携しながら計画書を作成しております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					個別支援計画を確認し、日々の支援を行っております。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	22		1	2		訪問日時は訪問先の行事等と重ならないように配慮しております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					今後も契約時や必要に応じて説明の機会を設けます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					面談を行い、個別支援計画を提示しながらの説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	23	1		1		面談等で個別に対応するほか、参観週間や保護者研修を行っております。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	25					連絡帳アプリや電話等で、ご家庭の様子をお伺いしています。活動の様子もお伝えしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25					相談等をいただいた場合は即時対応し、状況把握や共通理解に努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25					面談等を通して、保護者の方の意向もお聞きしながら日々の支援を行っております。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25					主任、施設長が相談に関する研修を受け、即時対応できるような体制を整えております。今後も何かありましたらいつでもご相談ください。
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				連絡帳アプリや電話等で、ご家庭の様子をお伺いしています。活動の様子もお伝えしております。	

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	23	1		1		訪問先から相談等があった場合には、助言を行ったりできる支援について一緒に考えています。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	23	1		1		定期的に連絡会を行い、支援の内容についての話し合いをしています。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	25					訪問後は電話や連絡帳にて内容を共有しています。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25					ホームページやまふいん便りなどで随時情報を発信しております。ブログも適時更新しておりますのでご覧ください。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					写真掲載などに関して、年度初めに必ず保護者の許可を得てから掲載するようにしています。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	24		1			各マニュアルは玄関横に掲示してあります。定期的な訓練も行っております。	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25					天候考慮できない大地震時とあえずの集合場所など、予めここにいるかもしれないという避難場所だけでも早めに周知徹底できるとよい。毎年度始めに伝達するなど、実際には連絡されているかもしれないですが、親の認識が薄く記憶に無い可能性もある。	ご意見ありがとうございます。安全計画を年度ごとに作成し、活動とも照らし合わせながら支援を行っています。また、通園・通学先との連携、事業所の避難場所についても適時伝達するようにしていきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21		4				今後も子ども達が集団の中で心配なく過ごせるように訪問し支援してまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	25					・いつも大変良くしていただきありがとうございます！ 子供達も行く時は涙が見られる時もありますが、帰る時には楽しそうに帰って来てくれており何よりです。 今後ともよろしくお願いします。 ・いつも相談に親身に添えていただけて、母のケアもしていただけたことにも感謝しております。ありがとうございます。 ・いつも楽しんでいって来て親としても嬉しいです。 ・体幹の強化や体を上手く使って塀に見立てて柵を乗り越え、逆側へ移動する活動をしてから、時々日常にあるフェンスや柵をよじ登り越えたい、腕や脚力を使って身を乗り出してみたい欲が多く、マンション5階の共用通路から塀を登ろうとした姿を数メートル後ろの距離がある場所から見た時は転落事故になりかねないと思いゾツとした。急に頭にコレ出来るかもしれない！景色をみてみたい！など思いついたら、活動に応用して試したくなるだろうが、本人の性格だけでなく"時と場合"をしっかりと使い分けられるとは限らないので、まふいんの室内での活動はこの柵を乗り越える訓練だから実施して許されるが、外では非常事態以外は、壁や柵やフェンス、手すりも超えてはならないと忠告も一緒にして欲しい活動があった。	スタッフ一同来年度も療育の質の向上に向け、学びを深め子ども達の為に支援を行っていきます。 ご意見ありがとうございます。頂いたご意見に対しては職員間でしっかり共有し、今後も子ども達が安全に過ごせるように支援してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
児童発達支援事業所まふいん（保育所等訪問支援）		令和7年2月26日				
事業所名		利用児童数			回収数	
児童発達支援事業所まふいん（保育所等訪問支援）		対象51名（兄弟時含む）			回収数 25人	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11			<ul style="list-style-type: none"> ・参観もしていただき、具体的な情報交換ができていたので、ありがたい。 ・集団生活において取り入れやすい事柄については、できる範囲で活用させてもらっています。 ・定期的に来てくださりありがとうございます。情報交換がたくさんできるのでとてもありがたいです。 ・それぞれのお子さんの特徴にあったアドバイスやご意見を頂いているので、とても有難いです。 	<p>ありがとうございます。集団の中で子ども達のできる支援についてもミーティング等で話し合っています。今後も園や学校の先生方のご意見をいただきながら、子ども達の為にできる支援について考えてまいります。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に合わせた具体的な支援方法をご提示いただいている。 ・少人数で関わり得たその子どもの状態について、情報を提供して下さるので、ありがたいです。 ・分かりやすく具体的に伝えて下さる。 ・園での困りごとにアドバイスを頂き、実践させていただいております。 ・どのような意図で取り組んでいるのかしっかり説明して頂いています。 	<p>ありがとうございます。直接先生方と情報共有させていただけるので感謝しています。今後も専門性を磨くために学んでいきます。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの送迎の際にその日の子どもの様子など伝えていただいている。 ・限られた環境・条件の中で、どう関わっていけばよいか…といった相談等にアドバイスをいただけることは非常にありがたいです。 ・療育での取り組みをしっかりと説明して頂いています。一緒に試行錯誤して考えて下さっているので、とても参考になります。 	<p>ありがとうございます。今後も通園先や通学先の先生方と連携を図りながら、支援の方向性を共有していきたいと思えます。子どもたちにとってより良い支援ができるよう努めてまいります。</p>	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	2		<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活における子どもの様子を直接見ていただけて、子どもの困り感や職員への援助の仕方に助言をいただいています。共有できることで、軽減される感じます。 ・実際に保育園での様子や療育での様子を観察して、情報交換やアドバイスを頂いているので、とても参考になります。 	<p>ありがとうございます。集団の中で子ども達の課題が少しでも解消していくように今後も支援してまいります。</p>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	10	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>①環境によって発揮できる力や生じる課題が異なる子どもも多いため、それぞれの場所でのその子の姿を共有できる場が今後も頂けると大変ありがたいです。</p> <p>②こちらの対応方法にも沢山アドバイス頂き、親身になってお話を聞いて下さりありがとうございます。対象児童だけでなく、他にも対応に困っていた際にご助言を頂いたりお話を聞いてくださったのがとても印象深いです。職員一同対応の場面でとても助けて頂きました。</p> <p>③保育現場での園児の姿や保育者の支援等を実際に見ていただきその中で具体的な助言やサポートをいただけることに感謝しています。</p> <p>④引き続きご指導ご鞭撻、また弊園との協働を継続くださいますようお願いいたします。</p>				<p>①ご意見ありがとうございます。定期的な連絡会を通じて、子どもの姿を共有していきたいと考えています。いつも受け入れていただきありがとうございます。ぜひまふいんでの様子を見学いらしてください。</p> <p>②園でできる支援等について今後も一緒に検討できればと考えております。</p> <p>③直接支援に参加させていただきありがとうございます。同じ方向性の元支援できる環境は私たちにとても有難く感じています。</p> <p>④今後ともよろしくお願いたします。いつでも見学対応をいたしますので、ぜひお越しください。</p>		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 令和7年2月26日				
児童発達支援事業所まふいん（保育所等訪問支援）		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		TPOに応じ、必要な教員教材を準備している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置数は適切である。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議だけに限らず、毎日のミーティングを行っている。また職員との面談を通して個々の目標に関しても振り返りを行っている。	全職員が業務改善を念頭に置き、日々の業務に当たれるようにしていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価をホームページに公開している。日頃から保護者の意向を把握できるように努め、業務改善を行っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングの他、年2回の職員面談を行い業務改善に努めている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		理事や監事の皆様、療育アドバイザーに適宜評価をいただき、評価結果を業務改善につなげている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンライン研修なども活用し、研修報告もしている。また、1年を通じた職員自身の学びをプレゼン形式で発表する内部研修も行っている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		アセスメントツールを活用し、保護者とのモニタリングを行っている。面談では課題のすり合わせを行い、児童発達支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援検討会議を行い、全職員が支援目標や支援内容の検討を行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問時に課題や支援について共有している。また、連絡会を通して、課題の整理等も行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿ったねらいを設定し活動をしている。子ども一人一人の課題を把握するように努めていく。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		今年度からは5領域を用いたアセスメントツールを使用しアセスメントを行っている。日々の活動の中でも子どもの状態を確認しながらアセスメントを行うようにしている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目に沿った個別支援計画書を作成し、個々のニーズに沿った支援内容を設定している。個別支援会議で課題や支援方法を検討している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿ったねらいを設定し活動をしている。子ども一人一人の課題を把握するように努めていく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		作戦ボードを利用して毎活動ごとに打ち合わせを行っている。子どもの予想される行動まで細かに検討し、個別対応の方法も必ず打ち合わせするようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後は毎回振り返りを行っている。ねらいに対しての活動は適切であったか、ねらいは達成できたのか、今回はどのように支援していくのかまでを必ず話し合うようにしている。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の状況に応じて支援をするように心がけている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		利用児一人ずつの支援内容を、活動後に必ず記録している。	次回の活動計画の際に、課題や支援内容がすぐに分かるような記録の書き方を工夫していく。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者と年2回の定期面談のほかにも必要に応じて面談をし、アセスメント後個別支援計画を見直している。	具体的な支援方法を全職員が提示できるように努める。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には職務に適した職員が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域に小児科に協力医療機関をお願いしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援や関係機関連携支援等を通して、支援内容の確認と支援のすり合わせを行いスムーズな移行支援を実施している。法人内施設は2ヶ月に一度の連絡会も行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		オンライン研修なども活用し、研修報告も行っている。また、1年を通じた職員自身の学びをプレゼン形式で発表する内部研修も行っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		極力参加するようにしている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡量や面談等にて子どもの課題について共通理解するようにしている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		就学教育相談説明会、性教育研修会など保護者向けの研修会を行い、家庭での対応の仕方や今後の成長の見通しなどをお伝えした。また、必要に応じて個別面談も行っている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず行っている。児童発達支援管理責任者や主任以外も、重要事項説明書などを読み込み保護者からの質問に答えられるようになる。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問時には必ず訪問の趣旨や意図について説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画作成時には保護者面談を必ず行い、強みや課題について共有し今後の支援について確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談を行い個別支援計画を提示しながら、具体的な支援方法を説明し同意を得ている。計画作成時にはガイドラインを必ず確認している。児童発達支援管理責任者や主任以外も、個別支援計画の説明や質問に答えられるようになる。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談などがあった場合、個別面談を行い助言等を行っている。	同じ職員ばかりが対応するのではなく、相談を受けた職員が対応できるように相談受付に関する研修の機会を設ける
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		就学教育相談説明会や保護者向け性教育研修、参観週間を通して保護者同士の連携がとれるように支援している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談は即時対応するようにしている。相談受付からの体制を整備し、マニュアルを作成している。	マニュアルに関しては適宜見直しを行っている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		まふいんだよりや連絡アプリにて行事や活動内容を掲載している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		入職の際に個人情報に関する取扱いの誓約書を記入している。また写真掲載などの扱いを必ず保護者に許可をもらっている。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡アプリを利用して情報伝達を行っている。対面で伝達する際にも、伝達事項を一つずつ確認するようにしている。		
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先の状況を見ながら、助言や支援を行うようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		連絡会等を通して、課題や支援の方法について共有するようにしている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後は保護者に訪問先の様子や、集団での課題、今後の支援方法について報告している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		入職の際に個人情報に関する取扱いの誓約書を記入している。また写真掲載などの扱いを必ず保護者に許可をもらっている。	重要事項説明書や契約書の内容を全員で確認する機会を設け、個人情報の取り扱いについて確認をする。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		相談等があった際は的確なアドバイスができるようにしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し玄関横に掲示している。保護者には契約時にもマニュアルに関する説明を行っている。	今後も適宜マニュアルの確認と見直しを行っていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間を通した安全計画を作成し、それに基づき支援を行っている。	保護者へ安全計画に基づいた取組等について、ブログで発信していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットはその日の施設日誌に必ず記載し、まふいん両面で共有できるようにしている。法人内でもスプレッドシートを活用して共有できるようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部講師を招いて虐待防止研修を行っている。園内研修や職員会議などでも定期的に研修を行い理解を深めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画にて保護者にて説明している。身体拘束についての研修を行っている。	